

原市場聖書教会

週 報

NO. 1074

年間聖句

わたしはふどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。

ヨハネの福音書 15章5節



2025. 11. 2

主日礼拝

2025年 11月 2日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：戸口貴夫兄
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「主のいやし受け取ろう」	一	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「走り続ける」	一	同
使徒信条		一	同
主の祈り		一	同
賛美	聖歌300番「すすめ主イエスの」	一	同
献金		一	同
感謝の祈り		戸口貴夫兄	
聖書朗読	テサロニケ人への手紙第一2章7節～12節	司会者	
説教	「神の喜ばれる歩みへと導くキリストの愛」	若村和仁師	
黙祷		奏楽者	
賛美	聖歌496番「主と主のことばに」	一	同
聖餐式		若村和仁師	
賛美	教会福音讃美歌259「ともにパンを分け合おう」	一	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	一	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●礼拝後自家焙煎コーヒータイムがあります。



「神の喜ばれる歩みへと導くキリストの愛」

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

テサロニケ人への手紙第一2章7節～12節

7, キリストの使徒として権威を主張することもできましたが、あなたがたの間では幼子になりました。私たちは、自分の子どもたちを養い育てる母親のように、

8, あなたがたをいとおしく思い、神の福音だけではなく、自分自身のいのちまで、喜んであなたがたに与えたいと思っています。あなたがたが私たちの愛する者となつたからです。

9, 兄弟たち。あなたがたは私たちの労苦と辛苦を覚えているでしょう。私たちは、あなたがたのだれにも負担をかけないように、夜も昼も働きながら、神の福音をあなたがたに宣べ伝えました。

10, また、信者であるあなたがたに対して、私たちが敬虔に、正しく、また責められるところがないようにふるまつたことについては、あなたがたが証人であり、神もまた証人です。

11, また、あなたがたが知っているとおり、私たちは自分の子どもに向かう父親のように、あなたがた一人ひとりに、

12, ご自分の御国と栄光にあずかるようにと召してくださる神にふさわしく歩むよう、勧め、励まし、厳かに命じました。

今月のワーシップ賛美

走り続ける

作詞・作曲 中山 告

メロディー：A E/G♯ F♯m D E

歌詞：いま主のみたまがあふれながれうごめく

メロディー：A E/G♯ F♯m D E

歌詞：主のたみがともに主を見上げるそのとき

メロディー：F♯m C♯m D F♯m C♯m D E

歌詞：こころをあらわすためわたしをいまきよめーて

メロディー：A E/G♯ F♯m A/C♯ D A/C♯ Bm E

歌詞：主よあなたをあいしもとめすべてをいまささげる

メロディー：A E/G♯ F♯m A/C♯ Bm E A

歌詞：あなたのかお見るときまではしりつづけーる

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖靈によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、

三日目に死人の内よりよみがえり、

天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。

我は聖靈を信ず。聖なる公同の教会、

聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ われらの日用の糧を

今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを

われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ

われらを試みにあわせず 悪より救いいたしましたまえ

国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ 2025年10月29日御言葉

マタイの福音書 9章14～17節

14, それから、ヨハネの弟子たちがイエスのところに来て、「私たちとパリサイ人はたびたび断食をしているのに、なぜあなたの弟子たちは断食をしないのですか」と言った。

15, イエスは彼らに言われた。「花婿に付き添う友人たちは、花婿が一緒にいる間、悲しむことができるでしょうか。しかし、彼らから花婿が取り去られる日が来ます。そのときには断食します。

16, だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

17, また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしません。そんなことをすれば皮袋は裂け、ぶどう酒が流れ出て、皮袋もだめになります。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。そうすれば両方とも保てます。」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●当時のユダヤ人にとって、断食は本来「罪の悔い改め」を表す大切な行為でした。ところが時が経つにつれ、断食は神への真実な悔い改めというよりも、自分の信仰的熱心さを他人に示すための宗教的行為へと変わっていました。

そのような中で、イエスの弟子たちは定期的に断食をしていませんでした。彼らは、マタイ3章16節に語られているように、断食を「心からの悔い改めの表れ」として理解していたからです。ですから、「決まった時に」「信仰を見せるために」断食をすることは意味がないと考えていたのです。

その姿を見たヨハネの弟子たちやパリサイ人たちは、「なぜイエスの弟子たちは断食をしないのか」と不思議に思い、あるいは批判的に問い合わせました。

それに対してイエスは、ご自分を「花婿」にたとえて語られました。

花婿と共にいる友人たちは、喜びに満ちた結婚の祝いの時に、悲しみのしるしである断食をするでしょうか。今は、花婿であるイエスと共にいる祝福の時なのです。ですから、断食の時ではありません。しかし、やがて花婿が取り去られる時が来ます。つまり、イエスが十字架にかかる時です。その時、弟子たちは自分たちの弱さや裏切りを思い、心から悔い改め、断食して祈るようになるとイエスは語られたのです。

さらにイエスは、2つのたとえを用いました。

ひとつは「古い衣に新しい布を継ぎ合わせたとえ」、もうひとつは「古い革袋に新しいぶどう酒を入れたとえ」です。これらは、当時のユダヤ社会が古い体制、すなわち律法主義に固く縛られていたことを指しています。

律法を守ること自体は悪いことではありませんが、それが形だけになり、心からの礼拝や悔い改めを失っていました。

イエスと弟子たちは、そこに新しい命の息吹「神の愛と恵みの福音」をもたらしました。しかし、もし人々の心が古い革袋のままであれば、その新しい命の力を受け入れることはできません。新しいぶどう酒を古い革袋に入れると、発酵して膨張し、袋が裂けて両方ともダメになってしまうように、古い心のままでは神の恵みを保つことができないのです。

イエスが語られたのは、「新しいぶどう酒には新しい革袋が必要だ」ということ。

つまり、神の新しい恵みを受け入れるためにには、私たち自身が新しくされなければならない、ということです。

私たちもまた、自分の中の「古い革袋」（過去の経験、固定観念、頑ななこだわり）にとらわれていかないでどうか。

神の恵みという新しいぶどう酒を、古い心に押し込めようとして、張り裂けそうになってしまっていいでしょうか。

日々、古い革袋を脱ぎ捨て、新しい心をもって、神の愛を受け入れ、その愛を実践していく者であります。

原市場聖書教会
若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

●11月24日（月）は今年もオープンチャーチを行う予定です。
当日奉仕できる方は、牧師または牧師夫人にお声掛けください。

●11月23日（日）はオープンチャーチの準備兼、教会大掃除を行います。
奉仕できる方ぜひご協力いただけましたら感謝です。

●12月13日（土）「飯能日高市民クリスマスコンサート」飯能市民会館小ホールにて。
ゲストは、岩渕まことさんご夫妻が来られます。市民クリスマスクワイアも募集します！
詳しくは10月にチラシを配布いたします。

●次週礼拝後に第5回の聖書の学びを行います。テーマは
「ルカとは何者なのか——イエスに会わなかつた福音書記者、その信仰と謎」
20分ほどの短い学びです。ご自由にご参加ください。 担当：本多崇兄

☆若村和仁師 今週の外部奉仕＆予定

- ・11月3日（月）～11月7日（金） NPO法人あまやどり (場所：高麗&原市場)
- ・11月6日（木）18時～20時 hi-b.a. 川越集会 (場所：ウェスター川越)
- ・11月9日（日）早朝、夕方 いきいき原市場まつり (場所：原市場中学)

本日午後の予定

★礼拝後コーヒータイムがあります。ご自由にお交わり下さい。

次週主日礼拝（11月9日）

司会：本多崇兄

聖書：テサロニケ人への手紙第一2章13節～20節

説教：「信じる者のうちで働く神の言葉」若村和仁師

奏楽：本多こずえ姉

讃美：ワーシップ賛美「主の宮」「走り続ける」

聖歌338、聖歌500、聖歌383

受付：若村めぐみ姉 献金感謝祈禱：本多節子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
10月26日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	0人			
	礼拝	0+0人	5+2人	11+5人	23(16+7)人
		(※各集会「対面+オンライン」表記となります。)			
	夕礼拝			希望者がおられませんでした。	
10月29日（水）	祈り会	0人	1人	5人	6人

集会案内

11月4日（火）	市民クリスマスクワイア練習会	10:30～12:00
11月5日（水）	祈り会	10:30～12:00
11月9日（日）	ハレルヤキッズ 礼拝	9:30～10:10 10:30～12:00

頌 呂
聖歌383
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1200 (C.S.)

ONIONYCLE
THOMAS HASTINGS, 1811

ちちみこみたまのおおみかみに と こしえか
わらすみさかえあれーみさかえあれーアーメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のアソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハルカキッス・スペシャル		
ひと月一回(日曜か土曜日)		14:00-16:00



原市場聖書教会

〒 357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL: 042-977-0254

FAX: 042-981-7200

牧師: 若村和仁